

関西から発信する歌とオーケストラによる新春の祭典

# New Year Concert 2018

ニュー・イヤー・コンサート

指揮 **三ツ橋 敬子**

管弦楽 **関西フィルハーモニー管弦楽団**



司会  
**高井 美紀**  
(MBSアナウンサー)



テノール  
**二塚 直紀**



合唱 **神戸市混声合唱団**

2018年 **1月2日(火)** 15:00開演 (14:00開場) **オリックス劇場**

S席¥5,000 / A席¥4,000 (全席指定・税込) ※未就学児のご入場はご遠慮ください。主催:オリックス劇場

<お問合せ>リパティ・コンサート 06-7732-8771 (10:00~18:00)

新春にふさわしいお楽しみ企画もあります! 今年もやります!お年玉プレゼント抽選会 新春の縁起物「振る舞い酒」

演奏予定プログラム

レハール:オペレッタ「メリー・ウイドウ」序曲 (オーケストラ)

ロッシーニ:「ウィリアム・テル」序曲(オーケストラ)

レハール:オペレッタ「微笑みの国」より  
“君こそ我が心のすべて”(テノール)

ドニゼッティ:オペラ「ランメルモールのルチア」より  
“計りしれない喜びを”(合唱)

宮城道雄(編曲:川上肇):春の海(オーケストラ)

ヴェルディ:オペラ「リゴレット」より  
“女心の歌”(テノール)

J.シュトラウスII:ワルツ「美しく青きドナウ」(合唱)

ヴェルディ:オペラ「ナブッコ」より  
“行け我が思いよ、黄金の翼に乗って”(合唱)

休憩

マスカーニ:「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲(オーケストラ)

ワーグナー:オペラ「タンホイザー」序曲(オーケストラ)



三ツ橋敬子 Keiko Mitsuhashi (指揮)

東京都生まれ。東京藝術大学及び同大学院を修了。ウィーン国立音楽大学とキジアーナ音楽院に留学。第10回アントニオ・ベドロツェイ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールにて女性初の受賞者として準優勝。併せて聴衆賞も獲得。第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。これまでに国内の主要オーケストラへ客演するほか、ジュゼッペ・ヴェルディ響、スロヴァキア・フィル、などヨーロッパでの定期演奏会にも客演を重ねている。2016年8月にはタン・ドゥン(指揮)と共にサントリーホール30周年記念 国際作曲委嘱作品再演シリーズで「武満徹:ジェモー(双子座)」を指揮し成功に導いた。ヴェネツィア在住。



二塚直紀 Naoki Nizuka (テノール)

大阪芸術大学卒業。第23回阪塚新人音楽コンクール第1位、平成16年度大阪舞台芸術新人賞、平成22年度平和財団芸術奨励賞、平成27年度滋賀県文化奨励賞受賞。様々なオペラに出演するほか、ベートーヴェン「第九」、マラー「大地の歌」、リスト「ファウスト交響曲」、ヴェルディ「レクイエム」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」のテノールソロ、関西フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会/ワーグナー「ジークフリート」第1幕ミーメ役、「トリスタンとイゾルデ」第3幕トリスタン役(共に演奏会形式)、「NHK-FMリサイタル・ノヴァ」、「題名のない音楽会」など各種演奏会に出演、好評を得ている。関西二期会会員。びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー。<びわ湖ホール四大テノール>としても活躍している。京都教育大学、滋賀大学、滋賀県立石山高等学校各非常勤講師。



神戸市混声合唱団 Kobe City Philharmonic Chorus (合唱)

1989年に神戸市により設立された日本を代表するプロフェッショナルの合唱団。神戸を拠点に童謡・唱歌、日本歌曲、外国歌曲、オペラ、シャンソンまで豊富なレパートリーをもち、市民の身近な合唱団として親しまれ、「音楽のまち神戸」推進に大きな役割を果たしている。

2005年には、ウラディーミル・アシュケナージ指揮、NHK交響楽団と「レクイエム」(阪神・淡路大震災10年)を共演。2010年、合唱の国ラトヴィア(リガ市)で世界的に有名な室内合唱団「アヴェ・ソル」とジョイントコンサートを行い、姉妹合唱団協定を締結。2013年7月、リガ市からの招聘により、ユネスコ無形文化遺産であるラトヴィア「歌と踊りの祭典」に出演。また、2011年に初のCD、特別演奏会「宇野功芳 叙情の世界」を、2012年には第2弾CD「宇野功芳 叙情の世界2」をリリースし、レコード芸術特選盤などに選出される。澄みきった密度の高い合唱は、美しい神戸ハーモニーとして高い評価を得ている。



高井美紀 Miki Takai (司会・MBSアナウンサー)

兵庫県神戸市出身。神戸女学院大学文学部英文学科卒業後、MBSに入社。1年目で夕方のニュース番組「MBSナウ」を担当。その後「VOICE」のニュースキャスターを20年以上務め、関西の夕方の顔となった。

現在はテレビ番組の「住人十色」(土)、「医のココロ」(土)、「ザ・リーダー」(日)、「皇室アルバム」(日)のナレーターを担当する他にラジオ「子守康範 朝からてんこもり」(金)、「日本一明るい経済電波新聞」(日)と報道からバラエティまで幅広い分野の番組を担当している。また、「1万人の第九」「ジルヴェスターガラコンサート」の司会も務めるなど、事業イベントでも活躍している。



関西フィルハーモニー管弦楽団 Kansai Philharmonic Orchestra (管弦楽)

1970年発足。1982年関西フィルハーモニー管弦楽団として新発足。2003年より特定非営利活動法人、2014年より認定NPO法人として生まれ変わり、関西を代表するオーケストラの一つとして文化・社会への貢献を目指して積極的に活動を続けている。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは2008年より首席客演指揮者を務め、2011年1月より楽団史上初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は2000年より正指揮者を務め、2007年4月より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は2001年より常任指揮者を務め、2011年1月より桂冠名誉指揮者に就任。人間の営みから生まれた音楽...

「ヒューマニズム」をテーマに、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開するとともに、地域密着を重視。地元練習場での「コミュニティーコンサート」などで聴衆との交流を図り、関西出身の若手アーティストも積極的に起用している。活動に明確なビジョンを持ち、常に新たなことに挑戦する個性派オーケストラとしてみます好評を博している。2014年10月よりスタートしたBSジャパンの音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週月曜夜11時)に藤岡幸夫と共に出演中。2015年5月から6月にかけては、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアー(合計5公演)を開催し、各地で大きな注目を集めた。

オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>

2018年 1月2日(火) 15:00開演(14:00開場) オリックス劇場

S席¥5,000 / A席¥4,000 (全席指定・税込) ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット発売日

2017年 10月14日(土) AM10:00~

主催:オリックス劇場 <お問合せ>リパティ・コンサーツ 06-7732-8771 (10:00~18:00)

チケット発売所

- チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:346-280]+セブン-イレブン、サークルK・サンクス、チケットぴあ各店舗
- ローソンチケット 0570-08-4005 (Lコード:53688) 0570-00-0407 (オペレーター対応 10:00~20:00)+ローソン、ミニストップ各店舗(店内Loppi)
- CNプレイガイド 0570-08-9999 ●e+(イープラス) <http://eplus.jp/> (PC・携帯)+ファミリーマート各店舗(Famiポート)
- 楽天チケット <http://r-t.jp/nyc> (PC・携帯) ●阪神プレイガイド 窓口販売のみ(11:00~19:00)

※0570で始まる番号は一部携帯電話及びPHS、IP電話、ダイヤル回線からはご利用いただけませんので、ご了承下さい。 © 営利目的の転売禁止。 KYODO